

ここに薔薇垣が

松本礼子

ここに薔薇垣があつた  
こどもの手を引いた  
若い母親が立っていた  
みどりの葉のあいだから  
花たちが親子を見ていた

夕ぐれの風はあまく  
なみだは塩辛かった

ここに薔薇垣があつた  
こどもの手を引いた  
若い母親が立っていた  
夕ぐれの風のなかで  
花たちが代わるがわる  
肯いていた

家のなかで 主が  
菜を刻んで  
夕餉の支度をしていた

丹精込めた花たちが  
表でやさしい仕事をしていることを  
知らずに